

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和3年度事業点検・評価調書

4-I-2

4-I-2

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセス方法の確認・整備
節	I. アクセスルートの整備・来訪者の誘導等	事業主体	佐渡地域振興局地域整備部
事業(施策)名	2 アクセスルートの管理及び整備(国・県道)	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセスルートの管理及び整備を行うことにより、来訪者の円滑な移動を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産登録による来訪者増等に対応した、島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセスルート(国・県道)の管理及び整備を行う。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ バイパスや現道の拡幅工事により、島内の港から各遺跡や観光スポットまでの移動の円滑化を図る。 		
これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ● 管理について 計画どおりパトロールを実施した。 ● 整備について H28からR2までにバイパスや現道の拡幅工事により約7kmの道路を整備した。 		
事業計画と実績	<p>【R3年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 管理では、県管理道路のパトロールは、路線(区間)により平日の日中で、週1～5回実施しており、この他、夜間や休日のパトロールも行う。 整備では、7路線、14箇所においてバイパスや現道の拡幅工事を実施(県単独事業を除く)し、道路利用者の安全性と利便性の向上に努める。 <p>【R3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 管理・整備とも計画どおりを実施。 ● 現道の拡幅工事により0.17kmの道路を整備した(2月時点の予定) 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 世界遺産の国内推薦が行われ、観光客の増加が予想されることから、来訪者の円滑な移動を確保するため、道路パトロールを確実に実施し、安全性を確保していく必要がある。 ■ 現在施工中の工事箇所の進捗を図り、早期に完成させることで、来訪者の利便性を高めていく必要がある。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ これまでどおり、管理道路のパトロールを確実に実施し、道路利用者の安全確保に努めるとともに、防災上対策が必要な箇所への対応を進め、整備中箇所の早期完成に努める。 		
事業評価	<p>【ゴールに対するR3末の達成度】 ◇ 管理については、従来から県管理道路のパトロールを確実に実施しており、道路利用者の安全確保に努めている。 整備については、予算や気象条件などの制約もあるが、概ね計画通り進捗している。 これらのことからBとする。</p> <p>{ A・(B)・C }</p>		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。